

# 2-28 有機性廃棄物を原材料とした高速発酵による高機能堆肥等の製造（ジャパンサイクル株式会社）

○ ジャパンサイクル株式会社は、資源循環型社会の構築に向け、有機性廃棄物を再生利活用できる安全な再生資源づくりを展開。

国内資源の種類

肥料の種類・肥料名称

取組の経緯・内容・成果（見込み）

・宮城県内、特に県北エリア（大崎市、登米市、栗原市、加美町、石巻市、気仙沼市 他からの下水汚泥、工業汚泥、動植物残渣 等）

・下水汚泥、鶏ふん、動植物質原料、食品工業汚泥「**勇氣万作4号**」肥料登録番号：生第92384号

**取組の経緯**  
・ジャパンサイクル株式会社では、社会、とりわけ近隣にある有機性資源を活用し付加価値を加え、再生資源・エネルギーとして還元していくことで、環境にも人々にも優しく、未来環境に希望がもてる循環型社会を実現する目標を掲げ、利用価値の少ない有機性資源の循環事業を開始。

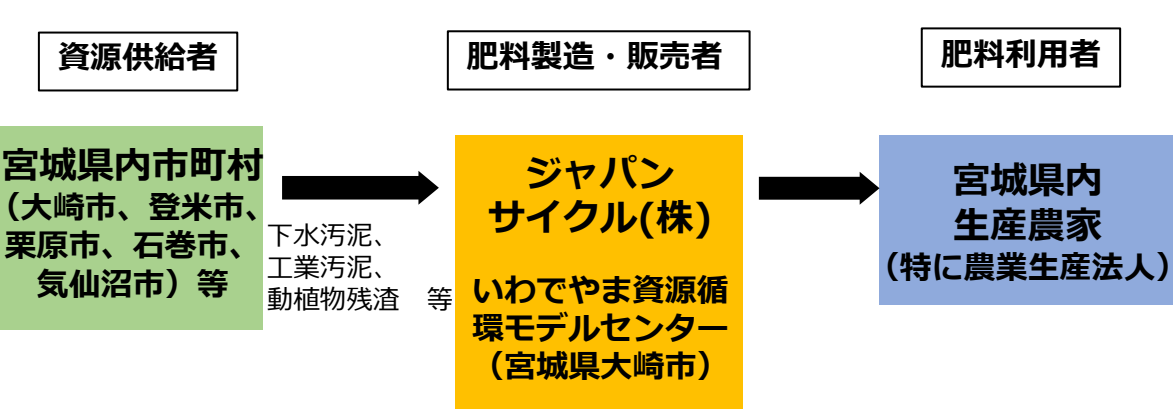
**■作物**  
・水稲  
・野菜  
・果樹  
・花き  
・植木 等

■主成分の含有量（％）、特徴等

|     |     |     |      |
|-----|-----|-----|------|
| N   | P   | K   | C/N比 |
| 4.8 | 3.8 | 0.9 | 7    |

**取組の内容、成果**  
・当社内の「いわでやま資源循環モデルセンター（宮城県大崎市）」では、地域から排出される間伐材・食品生ごみ等を堆肥、畜舎敷料、緑化基盤材、高機能有機質肥料、脱臭材等に再生利用。従来、これら有機性資源材は焼却や埋立されていたが、資源として再生することで最終処分量を削減し、資源の有効利用を推進。  
・当該施設はバイオマスを原料とし、微生物によって発酵堆肥化を行うため、環境に影響を与えるような排水や排気の発生はなく、さらに、これまでこのような資源を焼却する際に使用されていたエネルギー資源が不要となった。

■主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■今後の課題・取組

ペレット製造について、取り組み始めて間もないため、品質向上や販売形態の見直し（フレコンによる販売のため、小袋などへの対応）をするべく、それらに向けた設備投資を検討。



ペレット化した勇氣万作4号



ペレット造粒機